

## 映画『プリズン・サークル』上映会 および パネルディスカッション



令和6年9月9日、ミルキーウェイホールにて、全校生徒と保護者、教職員で、島根あさひ社会復帰促進センターを舞台にしたドキュメンタリー映画『プリズン・サークル』を鑑賞しました。上映後には、作中にも登場されている、元島根あさひ社会復帰促進センター社会復帰支援員で現在は作新学院大学講師の下郷大輔氏と、島根電工株式会社教育課課長の山本翔氏をお招きし、パネルディスカッションを行いました。教員代表と生徒代表も登壇し、映画の感想や疑問などから、「悩んだときにどのようなひとに相談するのがよいのか」「規則を守ることの意味とは何か」など、さまざまな話題になりました。生徒にとって、自分のこれからの生き方について考えてみるきっかけになったのではないかと思います。下郷様、山本様、本当にありがとうございました。

～～生徒たちの感想より～～

☆受刑者たちが自分と向き合い、変わろうとする姿に心打たれました。社会ももっと受け入れる姿勢が必要だと思いました。

☆誰かに相談できていればあの子たち（受刑者）ももっと違う人生があったんだなと思いました。

☆自分のこれからの生き方として、自分のまわりの人や子どもが犯罪を犯してしまわないように付き合っていたり、そのひと一人で抱え込まないように相談などを受けたいなと思いました。

☆今日は虐待やいじめなどの重い話があって2時間16分で長かったです。僕は自分ごとのように考えながら見ていました。自分は父と母が離婚していていじめも受けていたことがあったので、その時の自分はまわりの人に助けられていたので、やっぱりつらい時ほどまわりに頼れると心強いと思いました。